

令和6年度 調布市立第四中学校 学校経営計画（学校長 佐藤 政彦）

学校の教育目標

心ゆたかに 体たくましく 賢い生徒 の育成

目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像

「澄み渡る心 さわやかな態度 熱い姿勢」を学校スローガンとし、温かさに包まれ、生徒一人一人が輝き、地域に愛される学校を目指す。

ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	<p>○現状 生徒は、素直で素朴さを感じさせる生徒が多く、生活面での乱れはなく、学校生活は落ち着いている。保護者は、学校に対して協力的ではあるが、部活動数が減少したことへの不満や改築工事へ向けての不安を抱いている。地域においては、健全育成団体等と連携し、あいさつ運動や各種地域行事へ参加することにより信頼・協力関係を築いている。</p> <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力ある学校づくり（豊かな心の醸成、確かな学力の定着、学校行事・特色ある教育活動の充実、生活導・進路指導の充実） 特別支援教育の充実（配慮を要する生徒への指導の充実、ユニバーサルデザイン・合理的配慮の推進、校内通級教室・不登校対応巡回教員・ステップルームの活用、校内委員会の充実） 保護者及び地域と連携した学校づくり（地域行事への参加、地域学校協働本部の活用と連携、コミュニティスクール導入へ向けた準備）
-------------------------	--

中期的な経営目標

- 1 豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努める。
- 2 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるために、主体的・対話的で深い学びを実現させる。
- 3 食育の推進に関する指導・安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導を充実させる。
- 4 社会に開かれた教育課程の実現を目指し、保護者・地域と連携して、教育活動の充実に努める。
- 5 社会の一員として活躍する生徒の育成を目指し、「ボランティアマインド」「障がい者理解」「豊かな国際感覚」を育成する。

354人・11組

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
①ふれあい月間(3回)、いのちと心の教育月間(1回)、道徳授業地区公開講座(1回)では、全校体制で取組を工夫し、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。	①校内研修を年間3回以上、研究授業を年間3回以上、相互授業参観を行い、「主体的な学習を促す学習活動の工夫」を推進する。	①保健給食委員会を中心に、生徒の食育における主体的な取組を推進する。また、毎月の安全指導、避難訓練により安全な学校環境を構築する。
②移動教室(1学年3日間)、職場体験(2学年3日間)、修学旅行(3学年3日間)の体験活動を通して見聞を広め、自然や文化に親しませる。	②ICT推進教師を中心に活用を推進する。全教員がICTを活用した授業を実施し、情報活用能力の育成を図る。	②特別支援COを中心とした校内委員会(週1回)やSCとの連携により、多様な教育相談の機会を設け、心の健康を保持する。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
①学校評価で「道徳教育の充実」についての肯定的な回答93%以上を目指す。	①学校評価で「主体的な学習態度」についての肯定的な回答93%以上を目指す。	①学校評価で「食育・安全指導」についての肯定的な回答91%以上を目指す。
②学校評価で「体験活動の充実」についての肯定的な回答92%以上を目指す。	②学校評価で「タブレット端末の活用」についての肯定的な回答78%以上を目指す。	②学校評価で「教育相談の充実」についての肯定的な回答77%以上を目指す。

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

4 保護者・地域・小学校との連携	5 社会の一員として活躍する力
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
①学校だより(月1回以上発行)、HP(月5回以上更新)等の活用、地域清掃やあいさつ運動等で、保護者・地域・小学校との連携を図る。	①職場体験、福祉体験、地域清掃、あいさつ運動、校庭落ち葉掃き等の活動により、望ましい職業観や勤労観を養う。
②小学生の中学校訪問や小中連携教育の日(年2回)により、児童生徒及び教職員の交流や連携を図る。	②「ボランティアマインド」、「障がい者理解」、「豊かな国際感覚」の育成を図る体験的な活動を実施する。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
①学校評価で「学校だより」についての肯定的な回答80%以上を目指す。	①学校評価で「職業観・勤労観」についての肯定的な回答94%以上を目指す。
②学校評価で「HP・学校メール」についての肯定的な回答72%以上を目指す。	②学校評価で「学校2020レガシー」についての肯定的な回答87%以上を目指す。

人材育成・組織運営

【人材育成】

- 初任者育成チームの編成、相互授業参観、校内研修等による指導力向上
主幹・主任教諭でチームを編成し、組織的に初任者を育成する。また、教員相互に授業を参観し、授業力の向上に努める。
- 学年・分掌主任の意識の向上
運営委員会や主任会で、学校課題の共有と解決策の検討を行わせ、主任としての意識を醸成する。起案事項は、必ず各主任を通す。

【組織運営】

- 地域と連携した学校運営
地域の会合や行事に積極的に参加し、学校だより等により生徒や学校の様子を外部へ発信し、地域に開かれた学校運営を推進する。